2026 年 11 月吉日

プレスリリース　　東京国立博物館

2027 年の干支「未（ひつじ）」をテーマにした特集展示や新春イベントで新年を祝う

博物館に初もうで

2027 年 1 月 1 日（金・祝）～1 月 31 日（日）

東京国立博物館（館長：藤原誠、所在地：東京都台東区）は、2027 年 1 月 1 日(金・祝)12 時より開館し、恒例のお正月企画「博物館に初もうで」を開催します。干支をテーマにした特集展示や長谷川等伯筆の国宝「松林図屏風」（1 月 1 日～17 日 本館 12 室にて展示）をはじめ、本館、東洋館の各展示室で新年を祝う吉祥作品や名品をご覧いただけます。

また、1 月 1 日・2 日・3 日には和太鼓や獅子舞などの新春限定企画のほか、1 月 16 日・17 日には石川県との連携による「能登とつながる文化まつり」を開催します。さらに、当館アンバサダーである日本画家・千住博氏より 2025 年にご寄贈いただいた《ウォーターフォール・陽光》を、1 月 1 日～11 日で本館大階段上にて特別展示します。

新たな年のはじまりを、ぜひ当館でお迎えください。



【図1】 博物館に初もうで
メインビジュアル

特集　博物館に初もうで　―羊（よう）こそメェ～でたきヒツジたち―

2027 年 1 月 1 日(金・祝)～1 月 31 日(日)　本館 E 室

2027 年は未（ひつじ）年です。羊はアジアで広く家畜として親しまれてきた動物で、古代中国では瑞獣として尊ばれ、十二支の信仰とともに日本にも伝わりました。羊はもともと日本に生息していませんでしたが、推古天皇 7 年（599）に朝鮮半島の百済からもたらされたことが記録されています。しかし、近代にいたるまで飼育されることはまれで、実際の姿を目にする機会の少ない動物でした。そのため、作品のなかには山羊のような姿で表現されたものもみられます。

本特集では、絵画や染織、考古作品などを通して、羊が想像上の存在として日本に定着し、戦国時代以降に海外との交流によって実在の動物として認識されていく過程を紹介します。



（部分）

【図 2】 羊木臈纈屏風（模本）（ひつじきろうけちのびょうぶもほん）

明治時代･19 世紀　原本：奈良時代･天平勝宝 3 年(751)
東京国立博物館蔵
奈良時代、聖武天皇遺愛の品を納めた正倉院宝物を写したものです。原本は、布地に蝋を塗って色が染まるのを防ぎ、文様を染め抜く臈纈という技法よって制作された屏風です。本作品はそれを紙に模写し、巻子装としています。巻角を持ち、堂々たる風格の羊の姿は、舶来の珍しい生き物として聖武天皇の目にも映ったことでしょう。

【主な展示作品】 ※掲載作品はすべて東京国立博物館蔵



【図 3】敷物（しきもの） 入子菱幾何文様（いれこびしきかもんよう）

クルド 20 世紀初頭

小花を抽象化した文様を、綴織（つづれおり）で織り出した敷物です。多色に染め上げた羊毛を巧みに緯糸（よこいと）に用いており、羊毛の特質を十分に把握した職人技によるものです。



【図 4】羊磚（ようせん）

伝中国河南省滎陽県付近出土

前漢～後漢時代･前 1～後 2 世紀

漢時代の墓の入口の飾りに使われていたレンガです。古代中国では羊は福徳の象徴でもあり、目と鼻には銭の模様が表現されています。



【図 5】重要文化財 十二神将立像（じゅうにしんしょうりゅうぞう）（未神（びしん））

京都･浄瑠璃寺伝来 鎌倉時代･13 世紀

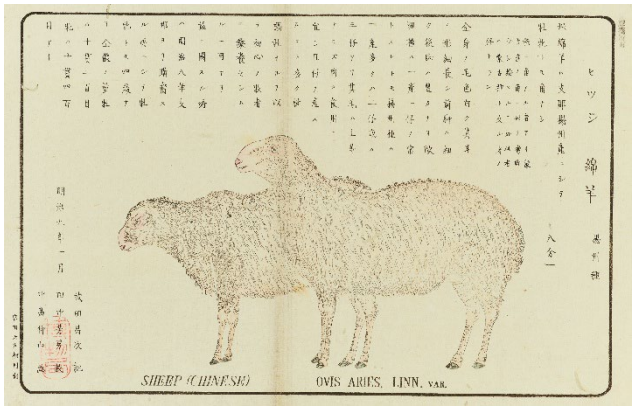
十二神将は武士の世となった中世に好んで表現された仏教の神々です。暦や方位との関係から十二支と結びつき、この未神像をはじめ特徴ある姿で表現されています。



【図 6】十二類合戦絵巻（じゅうにるいかっせんえまき）（模本（もほん）） 上巻（じょうかん） （部分）

狩野養長他模 江戸時代･19 世紀 原本：室町時代･15 世紀

十二支に恨みをもつ狸が合戦を仕掛ける物語です。画像の左から 2 番目の山羊のようにみえるのが羊です。戦いの前日談にあたるこの場面の宴会は和やかで、羊もくつろいだ様子です。



【図 7】動物一枚摺（どうぶついちまいずり） 綿羊（めんよう）（揚州種（ようしゅうしゅ））

武田昌次記、中島仰山画 明治 9 年(1876)

明治新政府で農業の振興を担当した勧業寮（かんぎょうりょう）に勤めた武田昌次の説明文のもと、博物画家の中島仰山によって羊の精密なスケッチが描かれています。

お正月を祝う作品　当館所蔵の名品や、お正月を寿ぐ吉祥作品などを展示します。

【主な展示作品】 ※掲載作品はすべて東京国立博物館蔵

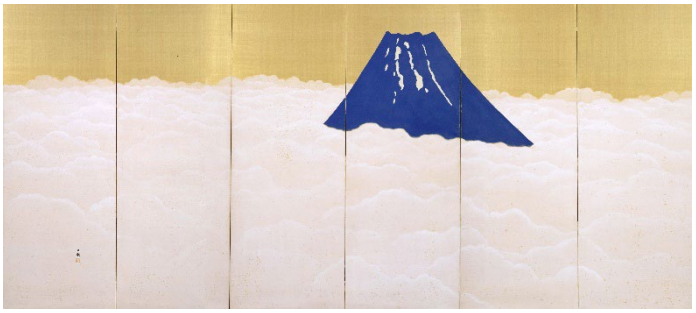




【図 8】国宝　松林図屏風　長谷川等伯筆　安土桃山時代･16 世紀

2027 年 1 月 1 日(金･祝) ～17 日(日)　本館 12 室(国宝室)

風が通り抜ける松林と、霧の晴れ間から差し込む柔らかな光を、墨の豊かな表現で描き出した長谷川等伯の代表作です。新たな年の幕開けにふさわしい、清澄な情景が広がります。



（左隻）

【図 9】雲中富士

横山大観筆　大正 2 年(1913)頃

2026 年 12 月 8 日(火)～2027 年 1 月 24 日(日)

本館 8 室

画面全体をうめつくすほどの沸き立つ雲海から富士がのぞいています。わずかな残雪を幾筋かだけ描き、白と青と金の色彩の対比が鮮やかです。



【図 10】重要文化財　樫鳥糸肩赤 威 胴丸

陸奥三春藩主秋田家伝来　室町時代･15 世紀　秋田一季氏寄贈

2027 年 1 月 1 日(金･祝)～3 月 14 日(日)　本館 15･16 室

胴に兜と大袖を備えた三物皆具の胴丸です。威毛には紺糸に紅糸を組交ぜた組紐を用い、要所に桐文と唐草文の飾金具を配しています。細部にいたるまで技巧を尽くし精緻に仕立てられています。



【図 11】掻取　白綸子地松竹梅鶴亀模様

野口彦兵衛旧蔵　江戸時代･19 世紀

2027 年 1 月 1 日(金･祝)～3 月 22 日(月･休)

本館 18 室

武家の女性の婚礼衣装で、州浜形の島から 1 本の竹を肩までまっすぐ立ち木に表し、流水に亀、飛鶴や松梅模様が金糸や絹糸を用いて細かく刺繍されています。さまざまな吉祥模様が新しい年を華やかに彩ります。



【図 12】金星ガラス亀形香炉

中国　清時代･19 世紀　神谷伝兵衛氏寄贈

2027 年 1 月 1 日(金･祝) ～6 月 20 日(日)　東洋館9室

2つの頭をもつ亀形の香炉です。金星ガラス(金星玻璃)とは褐色のガラスのなかに金色の粒子を含む技法で、美しくきらめきます。

イベント情報

新春限定企画

2027 年 1 月 1 日・2 日・3 日、表慶館前にて恒例の和太鼓、獅子舞をはじめ新春限定の企画を開催します。



【図13】過去の和太鼓イベントの様子

■催し物 ※各 30 分程度

2027 年 1 月 1 日(金・祝)　新春歌唱（オペラ)、獅子舞 葛西囃子中村社中
2027 年 1 月 2 日(土)　和太鼓 湯島天神白梅太鼓、獅子舞 葛西囃子中村社中
2027 年 1 月 3 日(日)　和太鼓 湯島天神白梅太鼓、獅子舞 葛西囃子中村社中

※実施時間は決まり次第、当館ウェブサイトにてお知らせします。

■ミュージアムショップよりプレゼント　2027 年 1 月 1 日(金・祝)・2 日(土)・3 日(日)

当館の全ミュージアムショップで合計 5,000 円（税込）以上お買い上げのお客様に、「東京国立博物館オリジナル卓上カレンダー 干支飾布」をプレゼントします。

※プレゼントは各日数量限定です。なくなり次第終了となります。お買い物は館内すべてのミュージアムショップが対象で、プレゼントのお渡しは本館ミュージアムショップのみで行います。

■「THE RESTAURANT 東京国立博物館」で割引券プレゼント　2027 年 1 月 2 日(土)・3 日(日)

東洋館別棟 1 階「THE RESTAURANT 東京国立博物館」にて、「東博御膳（3,800 円税込)」または「精進御膳（3,500 円税込)」をご注文いただいたお客様に、次回以降のお食事でご利用いただける 1,000 円割引券をプレゼントします。

※割引券には有効期限がございます。あらかじめご了承ください。

※「THE RESTAURANT 東京国立博物館」「ガーデンカフェ」は 1 月 2 日(土)、「鮨会席 おく乃」は 1 月 6 日(水)より営業を開始します。

■キッチンカー　2027 年 1 月 1 日(金・祝)から出店

甘酒や和菓子など、お正月らしいキッチンカーが出店予定です。

■寛永寺根本中堂特別参拝　2027 年 1 月 1 日(金・祝)13 時～16 時、2 日(土)・3 日(日)10 時～16 時

※最終受付 15 時 40 分まで

当館の当日分観覧券の半券をご提示いただくと、根本中堂中陣および天井絵「叡嶽双龍」を無料でご覧いただけます。

能登とつながる文化まつり　※事前申込不要、ただし当日の観覧料が必要です

石川県と当館との連携協定より、当館において能登の文化の魅力を発信するとともに、令和 6 年能登半島地震および令和 6 年奥能登豪雨からの復興を応援するイベントを開催します。

日時：2027 年 1 月 16 日(土)・17 日(日)

■輪島塗沈金体験　参加費 2,000 円（税込）

漆面に模様を彫り、金箔や金粉を埋め込む伝統技法の「沈金」を体験できます。

10 時～16 時　平成館ラウンジ



【図14】 輪島塗沈金体験 完成品イメージ

■御陣乗太鼓（ごじんじょうだいこ）の公演　参加無料

石川県輪島市名舟町に伝わる伝統芸能の「御陣乗太鼓」の公演を行います。
11 時～、13 時～、15 時～　※各回 15 分程度、内容は同じです
平成館正面玄関前（屋外）　※雨天時は平成館大講堂で実施



【図15】御陣乗太鼓公演の様子

■石川県の工芸品・特産品販売

アンテナショップ「八重洲いしかわテラス」と輪島朝市より、工芸品や特産品などを販売します。
10 時～16 時 30 分　平成館ラウンジ

■日本漫画家協会「チャリティー色紙パネル」の展示

被災者支援のため、公益社団法人日本漫画家協会が実施した「マンガ deGO!」令和 6 年能登半島地震被災者支援チャリティーオークション 2025 に出品された漫画家による 278 枚の色紙をパネルにて紹介します。
10 時～16 時 30 分　平成館ラウンジ



【図16】チャリティー色紙パネル

※上記以外の内容も決まり次第、当館および石川県ウェブサイトにてお知らせします。また諸事情により、実施内容を変更または中止する場合があります
石川県ウェブサイト　https://www.pref.ishikawa.lg.jp/muse/event/20270116_17_bunkamaturi.html

ギャラリートーク　※すべて参加無料、事前申込不要、ただし当日の観覧料が必要です

特集「博物館に初もうで　―羊こそメェ～でたきヒツジたち―」に関連した作品について、担当研究員による解説を行います。

羊がきた道～アジアから日本へ～

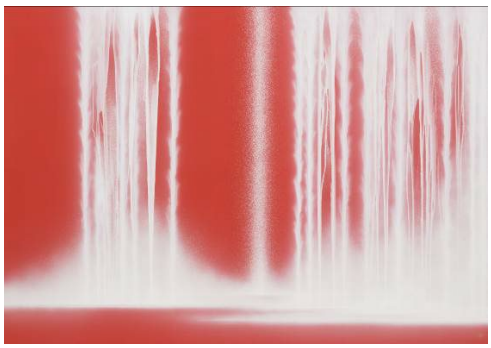
今年の干支、未（ひつじ）にまつわる作品を紹介します。羊がどのようにめでたい動物として日本へとやって来たのかを追いかけます。
2027 年 1 月 21 日(木)　14 時～（20 分程度）　本館 E 室
講師：山本亮（考古班）

日本の中の「羊」たち

絵画作品を中心に、「羊」がどのように表現され、日本人に親しまれてきたのかを紹介します。
2027 年 1 月 29 日(金)　18 時～（20 分程度）　本館 E 室
講師：野中愛理（絵画班）

千住博《ウォーターフォール・陽光》新春特別展示

当館アンバサダーであり、世界的に活躍する日本画家・千住博（せんじゅひろし）氏より、2025 年にご寄贈いただいた《ウォーターフォール・陽光》を 1 月 1 日(金・祝)～11 日(月・祝)で本館大階段上にて特別展示します。千住氏の代表的なモチーフである「滝」を描いた作品は、自然の清らかさと力強さを映し出す作品として、国内外で高く評価されています。お正月にふさわしい紅白の滝を、新春の幕開けよりお楽しみください。



【図 17】ウォーターフォール・陽光

その他、2027 年 1 月・2 月開催の特集・特別展など

※★がついているものは、当館ウェブサイトにプレスリリースを掲載中、または掲載予定です。
詳細は、当館ウェブサイト＞プレス向け情報＞プレスリリースのページをご覧ください

特集「宋時代へのあこがれ―中国と日本をつなぐ美の古典―」 ★
2027 年 1 月 1 日(金・祝)～ 3 月 22 日(月・休)　東洋館 8 室

特集「おひなさまと日本の人形」
2027 年 2 月 9 日(火)～4 月 4 日(日)　本館 E 室

特集「隋唐ヒットパレード！―うたう鏡と時めくうつわの7世紀―」
2027 年 2 月 16 日(火)～5 月 9 日(日)　本館 D 室

特別展「源氏物語　王朝のかがやき」 ★
2027 年 1 月 19 日(火)～3 月 14 日(日)　平成館特別展示室

ファイナルファンタジー40 周年記念展「終わりなきファンタジーの世界」
2027 年 1 月 8 日(金)～4 月 4 日(日)　表慶館
※本企画の報道関係のお問い合わせ先は、本プレスリリース末尾をご覧ください

【博物館に初もうで 来館案内】

2027 年 1 月 1 日(金・祝)は 12 時～20 時で開館します。

開館時間：9 時 30 分～17 時　**毎週金・土曜日および 2027 年 1 月 10 日(日)は 20 時まで**
※入館は閉館の 30 分前まで

休 館 日：月曜日、1 月 12 日(火)
※2027 年 1 月 11 日(月・祝)は開館
※下記の展示室について、展示環境整備のため閉室しています
2026 年 10 月 26 日(月)～2027 年 4 月 25 日(日)　本館 4 室(特集)
2026 年 12 月 14 日(月)～2027 年 4 月 25 日(日)　本館 2 室(漆工)、本館 3 室(金工・刀剣・陶磁)

観 覧 料：一般 1,000 円、 大学生 500 円
※東博コレクション展(平常展)観覧料でご覧いただけます。(特別展や有料イベントは別料金)
※高校生以下および満 18 歳未満、満 70 歳以上の方は無料。入館の際に年齢のわかるものをご提示ください。
※障害者とその介護者 1 名は無料。入館の際に障害者手帳等をご提示ください。
※キャンパスメンバーズ会員校に在籍する学生および教職員は無料。正門チケット売場(窓口)にて、会員校の学生・教職員であることを申し出、学生証・教職員証をご提示ください。
※会期・開館日・開館時間・展示作品・展示期間・入館方法等については、今後の諸事情により変更する場合がありますので、当館ウェブサイトでご確認ください。

交　　通：JR 上野駅公園口、鶯谷駅南口から徒歩 10 分
東京メトロ上野駅・根津駅、京成電鉄京成上野駅から徒歩 15 分

東京国立博物館ウェブサイト　https://www.tnm.jp/
博物館に初もうでイベント詳細ページ　https://www.tnm.jp/modules/r_event/index.php?controller=dtl&cid=5&id=11845
お問合せ　050-5541-8600(ハローダイヤル)

本リリースの内容、またはご取材に関するお問い合せ先

東京国立博物館　広報室 E-mail: pr_tnm@nich.go.jp
※E-mail の件名に「初もうで」とご記載いただけますと幸いです。

※ファイナルファンタジー40 周年記念展「終わりなきファンタジーの世界」PR 事務局（株式会社サニーサイドアップ内）
担当：飯森(080-4191-6270)、梅澤(080-7452-7651)、鈴木、齊木
E-Mail：ff40th_exhibition_pr@ssu.co.jp